

公益財団法人 仁科記念財団

令和 6 年度（2024 年度）事業計画書

仁科記念財団の公益目的事業は、定款第 4 条に掲げられている通り、故仁科芳雄博士が開拓した原子物理学およびその応用に関する研究において（1）きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成です。

令和 6 年度（2024 年度）は、以下の公益目的事業を行います。

（1）仁科記念賞の授与

仁科記念賞は、財団が創立した 1955 年に第 1 回が授与されて以来の長い伝統をもち、原子物理学の分野では最も評価の高い賞としてよく知られています。2024 年度（第 70 回）も例年通り、2024 年 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、応用物理学会誌 に仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募します。選考は仁科記念賞規程に則り選考委員会で行い、受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 60 万円の副賞を授けます。授賞件数は、3 件以内とし、選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に発表するとともに、授賞理由を当財団ホームページとアジア太平洋物理学会連合（Association of Asia Pacific Physical Societies: AAPPS）の Bulletin 上に公表します。本年度の授賞式は、仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日（金）に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員等の参加する研究交流の場で執り行います。

（2）仁科記念講演会の開催

仁科記念講演会は、社会に原子物理学およびその応用の真髄を知っていただくため、1955 年以来毎年、一般の参加を得て開催されてきています。本年度は、第 70 回の定例講演会を開催します。

（3）仁科記念室史料の保管・整理・公開

仁科記念室の歴史的に貴重な資料・図書などの保管・整理・公開に努めます。関連諸機関とも協力して史料の整理を進めるとともに、写真・書簡・論文等史料を電子化して当財団ホームページの「デジタル仁科記念室」で逐次公開します。

（4）出版物刊行

「仁科記念財団案内 2024 年」を出版します。また、仁科記念講演会の講演録や講演録画などとともに、当財団がこれまで冊子体として刊行してきたものを電子化してホームページの「出版および史料研究調査」に公開します。

(5) 優秀な人材の外国からの招聘

2013 年度に創設した「仁科アジア賞」は、所期の目的を達成したため、一昨年度の第 10 回をもって終了しました。

本年度は、コロナ禍のために招聘を延期してきた受賞者 2 名（2020 年度の Dr. Ying Jiang, Boya Distinguished Professor, International Center for Quantum Materials, School of Physics, Peking University, China と 2021 年度の Dr. Wang Yao , Chair Professor, Department of Physics, the University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China）を受賞講演のため、それぞれ約 1 週間、招聘します。